

3年	単 元 名	火事からくらしをまもる
(教科)社会		

### 1. 単元の目標

火災から地域の人々の安全を守る働きについて調べ、まとめることで人々の諸活動を捉え、消防署などが地域の安全を守るために地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解するとともに学習したことを基に地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを考えようとする。

### 2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

火事からくらしを守る取組について分かりやすい本を用意して、児童が自分のテーマに沿った資料を集められるようにする。

- ・集めた資料から読み取れる情報をカードに記入し、必要な情報を簡潔に整理できるようにする。

### 3. 授業での活用場面

学習活動	学校図書館の関わり
○火事からくらしを守るための取組に関する情報を集める。	・火事からくらしを守る取組について資料を提供してもらおう。
○資料から情報を取り出して情報カードにまとめる。	・授業中のアドバイスをしてもらおう。(引用・要約) ・ブックリストを作成してもらおう。

### 4. 考察（成果や課題等）

○一人では情報カードを読み返して、大事なところに線を引くことが難しかったが、ペアやグループで見直すことで修正することができた。グループで検討していたためそのまま情報カードを整理・分類することはできたが、どのような事柄をポスターに載せるかは、グループでも難しかったため、全体で相手を意識させて、内容をどんな視点で選ぶかを考えることで、話し合い選ぶことができた。また、まとめる段階では図書資料をもとに自分の担当した内容に合う絵や写真を参考にしておくことができた。

●火事からくらしを守る取組についての図書資料で適切なものが少なかった。資料の数も少ないうえに生活科関連の町探検「消防署」、1年国語関連「はたらくるま」「しょうぼうしゃ」などからで、適切な情報とはいえず、ポスターに取り上げる内容もどのグループも似たり寄ったりになってしまった。また一人1冊は図書資料がほしかった。